

○事業所名	こまどカレッジ		
○保護者評価実施期間	R7年1月15日 ～ R7年2月15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	R7年1月15日 ～ R7年2月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者やその家族に寄り添った支援をおこなえている。また利用者のことを十分に理解し、利用者の特性等に応じた専門性のある支援をおこなっている。	普段より職員同士での意見交換を行い、よりよい支援が行えるように心がけている。また保護者や学校等関係機関との情報共有を行い、利用者の成長につながるように努めている。	職員一人一人の専門知識を深めるために、研修会の参加やチームとしての統一性、また保護者や学校等関係機関との連携をより一層深めるようにする。
2	多機能型事業所のため、色々な人材や体験の場が提供出来る。	避難訓練や事業所の行事を行うことで、交流を図っている。	より充実した支援に繋がるように、事例検討や打ち合わせにて利用者の情報共有を更に深める。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	保護者同士のつながりや地域との交流が不足している。	保護者会(保護者が来やすい行事など)が行われていない。	保護者が来やすい環境づくりや、地域住民との交流会を開けるようにする。
2	時差出勤の為、情報共有が完璧に行われていない。	時差出勤で全体に情報がいきわたりにくい。	みんなが集まれる時間帯を作り、確実に情報共有できる場を設ける。またZOOMなどを利用してその場に参加できない職員もオンラインで参加できる環境を作る。
3	退勤前の情報共有する時間が確保できない。	送迎範囲が広い為、退勤前にその日の振り返りの情報共有が行いづらい。	朝の時間を使って全体ミーティングを行い、情報共有を行う。